

辯説法

岩手県曹洞宗布教師会三分間法話

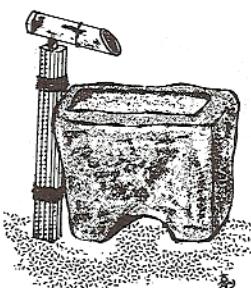
現代社会は国際社会だ、情報化社会だ、高齢化社会だ、などいろいろなことを言われます。加えて、この頃は経済が大変で不況だ、不況だと大人が言います。子ども達も大変で、テレビだ、塾だ、勉強だと忙しく過ごしています。毎日とりつかれたように忙しく動き回っています。

さて、仏教では、人間を悩ませるものとあるものを三つの毒、三毒と言います。たくさん煩惱がある中で、おおもとにある貧・瞋・痴がそれです。貧とはむさぼり、瞋とはいかり、痴とは愚痴です。

一つにまとめて欲望です。この欲望には限りがあります。

せん。

そろそろ結論にいきましょ



お聞き下さい
心に残る
法話を

曹洞宗岩手県宗務所
テレホン法話
☎ 0120-62-1602

「ほどほど」の効用
紫波町・高金寺住職 大松博典

食べたい、飲みたい、眠りたいといった本能的な欲望から、お金が欲しい、名譽がほしいといった欲望まで、数え上げればきりがありません。

この欲望をコントロールすることを仏教は説きます。

睡眠欲や食欲は人間の本能として備わっているものですから、全く失くしてしまっては、「ほどほど」の効用をよく心得て、「ほどほど」になりました。

何とかする方法は、それだけは「ほどほど」の効用をよく心得て、「ほどほど」になじむことしかないようです。

う。人間の煩惱は、それはそれはやっかいなもので、限度があります。それに

ほとけに
出会う